

# 保育総合研究会 2021 年度

## News11

NewVOL.32/2022. 2. 18



(2020 年度 21 号) (2021 年度 11 号)

発行人 保育総合研究会 会長 坂崎 隆浩

発行元 事務局長 社会福祉法人 聖心会

第2 聖心保育園 園長 永田久史

〒574-0014 大阪府大東市寺川 1-20-1

Tel 072-874-0981 Fax 072-874-0982

E-mail [zenkichi@apricot.ocn.ne.jp](mailto:zenkichi@apricot.ocn.ne.jp)

全国会員数 97 名

<http://hosouken.xii.jp/hskblog>

### 先に 2022 年 2 月～3 月の予定

1. 公開保育委員会より👉アンバサダーを受講してなくても公開保育だけをしていても良いですよ

今回は会員全員ご連絡します➡令和 4 年度公開保育の申し込み&アンバサダー各園(地域)視察希望調査

公開保育について(どなたでも申し込めますが、こども園でないと補助は出ないのでお気を付けてくだ

さい。ということは、こども園の方は頑張ってやったほうが良いですよ。但し、施設関係者評価

つまりは学校評価もセットとなりますのでこちらもご注意ください。締め切りは 3/15

アンバサダー受講者の方は必ず提出してください。☆勇さんの方で集約します➡ [thomas@thomas.ed.jp](mailto:thomas@thomas.ed.jp)

◆書式一式を製本(冊子)して総会案内とともに保総研全員に配布する予定※製本は矢野副会長・田口担当

**プリプリ:※オンライン説明会(ワンダー開催)⇒3月の指導計画説明会**

**日時 3月7日(月)16:00～執筆なさる方&など担当者の方、お願いします**

- 認可保育 0歳児/東ヶ崎静仁    ○認可保育 1歳児/伊東 一男    ○保育園 2歳児/上原 隆寛
- 認可園 2歳児/吉本 大樹      ○認可保育 3歳児/古川 豊      ○認可保育 4歳児/菊池 晃
- 認可保育 5歳児/松永 和孝    ○食育計画/打田 修子    ○健康安全計画/勇 まり子

**●上記の他に、アドバイスをしている方々も参加して下さると有難いです。**

**保育界【シリーズ/保育の未来像】⇒執筆者の方/3月20日締め切りですよ**

テーマ 社会変容がもたらす保育のあり方 ～今後の保育ビジョンを考える～

【文字数】。執筆者は1600字となります。

書き方は、「～である調」でお書きください。※指定された文字数でまとめていただきますようお願いいたします。

【提出方法】

**ワードにて指定文字数を記入の上、坂崎会長と古川へ3月20日(日)までにデータで提出してください。**

坂崎会長 [kodomoen.sakazaki@angel.ocn.ne.jp](mailto:kodomoen.sakazaki@angel.ocn.ne.jp) 古川 [kaoru153@estate.ocn.ne.jp](mailto:kaoru153@estate.ocn.ne.jp)

**3月三役会事務局会議 日時 令和4年3月22日(火) 13:30~15:00**

次の News12 は3/22 以降になると考えていますので会員の皆様ご了承ください。

役員に願い➡あらかじめ、各部会委員会等の令和3年度の事業執行については日時・参加者数も含めて永田事務局長にお知らせして下さると有難いです。

**※4月の役員会は全役員が対象になりますので日時が決まり次第お知らせします。**

**その場合、三役事務局会議を含むこととなります。**

**次の頁に保総研令和4年度前半の日程を提示します。皆さんの園の年間計画を作るのに**

**参考にしてください。なるべく全ての研修にご参加願えれば幸いです。**



令和4年度総会 オンライン開催 令和4年5月13日(金) 13時より 決定

同日第74回オンライン定例会

15時より/講師未定

第75回定例会イン青森（青森市）令和4年7月2日(土) 13時30分より 決定

場所は青森市駅前ワラッセ 講師未定/食事会計画中

(※保育を高める研究集会 6月30日午後-7月2日午前 青森市開催予定 実行委員長坂崎)

第1回目生涯教育部会(新潟県内温泉地)+第76回定例会イン新潟(新潟市)

令和4年9月12日(月)昼集合~9月14日(水)朝解散/決定

それでは2/14.15の年次大会等を報告します。



The background of the slide is a dense, blue, textured pattern that resembles a close-up of a pine tree's needles or a similar natural material. The text is overlaid in white, providing a high-contrast, legible appearance.

令和3年度

保育総合研究会 年次大会

これからの就学前教育の課題と令和4年度への展望について

## 令和3年度 保総研年次大会 オンライン研修会終わりました(報告)

令和4年2月14日(月) 13:00～ 15日(火)12:00

◎1日目(2/14月曜)13:00～17:00

特別講演 I (15:30～16:50) 参加者 71名

<テーマ>「現状の保育所等の課題と令和4年度への展望について」

<講師> 厚生労働省 子ども家庭局 保育課 課長 林 俊宏 氏

※林課長様からは、人口減少地域のこれからの在り方を中心にお話しをいただきました。

又、令和3年度の概要とともにこども家庭庁の事についても触れられました。

➡下記資料確認 注意/厚労省文科省の資料は勝手にその他の方に転送しないようにお願いします。

## 地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会 取りまとめ (令和3年12月20日) 概要(1)

### 政策の方向性

- これまでの国の保育政策は **待機児童問題への対応が主軸**。引き続き「新子育て安心プラン」等による保育需要への対策は実施。
- 今後の人口減少社会において、**良質な保育を提供し続けることが大きな課題**。国としても保育政策の大きな柱として位置付ける必要。
- 同時に、未就園児の養育家庭等への支援を地域の子育て資源が担っていく中で、特に **0～2歳児への支援に強みを持つ保育所・保育士の役割を強化**。

→ **保育を必要とする家庭への保育を確実かつ質を伴う形で提供する体制を前提** としつつ、**個々の保育所の強み・体制等を踏まえた役割分担** の下で、**他の子育て支援機関等とも連携・協働** した上で、**多様な保育・子育て支援ニーズを地域全体で受け止める環境整備** を行う。

→ これを支える各保育所の体制について、**保育士や保育士以外の子育て経験者等で役割分担** しながら、**他の関係機関と連携・協働** していくため、**各種事業等での支援** や、**給付や評価の在り方の見直し**、そのための**研修体系の構築** など、**総合的な取組を進めていく**。

### 具体的な取組内容

以下の4本柱に沿って、提言を取りまとめ

- ① **人口減少地域等における保育所の在り方**
- ② **多様なニーズを抱えた保護者・子どもへの支援**
- ③ **保育所・保育士による地域の子育て支援**
- ④ **保育士の確保・資質向上等**



◎2 日目(2/15 火曜)9:30~12:00

**特別講演Ⅱ(10:30~11:50) 参加者 65 名**

<テーマ>「架け橋プロジェクトの現状と課題および令和4年度への展望について」

<講師>文部科学省 初等中等教育局 幼児教育課長 大杉 住子 氏

※大杉課長様からは、社会の幼児教育の重要性がまだまだ薄い認識の底上げの話とともに、架け橋プロジェクトの説明をいただきました。カリキュラム開発会議はこれからも大事な視点だと思いました。➡下記参照





## モデル地域における架け橋期のカリキュラムの開発イメージ

○架け橋期<sup>※</sup>のカリキュラムについては、幼保小が協働し、共通の視点を持って教育課程や指導計画等を具体化できるように、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手掛かりとしながら策定よう工夫する。そして、幼保小の先生と一緒に振り返り評価し、改善・発展させていく。

○自治体ごとの工夫を促しつつ、例えば、下記のような共通項目を整理して示すことが考えられる。

		0歳～	5歳児										小学校1年生										小学校2年生～				
項目例			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
育ってほしい姿																											
園で展開される活動 ／小学校の生活科を中心とした単元構成																											
幼保小での活動																											
遊びと学びのプロセス																											
指導上の配慮事項	全体																										
	先生の関わり																										
	環境の構成・環境づくり																										
	.....																										
家庭との連携																											
...																											

## 生涯教育部会(愛称:おジャマーズ)2021-2022年度(報告)

設立役員は次のとおりである

代表	椛沢	(中央推薦)	1名	
副代表	伊東 森田	(中央推薦)	2名	
幹事長	東ヶ崎	(中央推薦)	1名	
副幹事長	遠藤浩正 田口 本田		3名	
幹事	15名以内(各ブロック選出) 12名 ※今後追加の可能性有 北海道ブロック欠員			
	今野(北東北ブロック選出)	遠藤浩正(南東北ブロック選出)	渡辺(北関東ブロック選出)	
	成田(東京ブロック選出)	田口(南関東ブロック選出)	伊東(北信越ブロック選出)	
	土山(中部ブロック選出)	東口(近畿ブロック選出)	田和(中国ブロック選出)	
	筒井(四国ブロック選出)	本田(九州ブロック選出)	阿嘉(沖縄ブロック選出)	
	事務局員 菊地・福沢・只野・百瀬	顧問 坂崎(保育総合研究会会長)		
	※部会担当現役員 菊池 遠藤浩平 田和 土山 百瀬(主な連絡先は菊地と遠藤浩平にした)			

◇保育総合研究会 生涯教育部会(愛称:おジャマーズ)内規

(名称及び事務局)

第1条 本会は保育総合研究会 生涯教育部会(愛称:おジャマーズ)と称し、本会事務局は保育総合研究会幹事長の所属する施設所在地に置く。

(目的)

第2条 本会は保育総合研究会のサポート並びに就学前教育・保育、子育て支援の向上を図るために研鑽する。

(会員)

第3条 本会に賛同する保育総合研究会正会員で概ね60歳以上の者、保育総合研究会現役員を会員とする。

2. 特別会員並びに前項以外の者で本部会の目的に賛同する者は役員会の承認を得て会員とする。

(入会)

第 4 条 本会入会を希望する者は、会長に入会届を提出し役員会の承認を得なければならない。

(退会及び除名)

第 5 条 会員は届け出により退会することができる。

2. 本会の秩序を乱し、又、名誉を毀損したる会員は役員会の議決により除名することができる。

(役員)

第 6 条 本会に次の役員を置く。

代 表	1 名	副代表	2 名		
幹事長	1 名	副幹事長	3 名		
事務局員	数名	幹 事	15 名以内(各ブロック選出)	顧 問	1 名(保育総合研究会会長)

(事業)

第 7 条 年 1 回の研修会を開催する。

(経費)

第 8 条 本会の経費は保育総合研究会助成金、寄付金その他の諸収入による。

(会計年度)

第 9 条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌3月31日に終わる。

(解散)

第 10 条 本会の解散の場合における残余財産の処分は保育総合研究会会計に繰り入れるものとする。

附則 ・本内規は令和 4 年 2 月 15 日から実施する。

**第 1 回生涯教育部会研修会は次年度の 9 月に延期されました。**

**令和4年度事業計画概要(案)⇒あくまでも予定ですが、5/13.7/2.9/12.13の日程を開けてください**

基本は参集研修とオンラインの交互を基本としたい 参集は参加費有り オンラインは基本無料

**総会 オンライン開催 令和4年5月13日(金) 13時より 決定(再掲)**

同日第74回オンライン定例会 15時より/講師未定

**第75回定例会イン青森(青森市) 令和4年7月2日(土) 13時30分より 決定(再掲)**

場所は青森市駅前ワラッセ 講師未定/食事会計画中

(※保育を高める研究集会 6月30日午後-7月2日午前 青森市開催予定 実行委員長坂崎)

※次回保育を高める研究集会の御案内を皆さんにします。

**第1回目生涯教育部会(弥彦か月岡)+第76回定例会イン新潟(新潟市)**

**令和4年9月12日(月)昼集合~9月14日(水)朝解散/決定(再掲)**

第77回定例会かオンライン 11月 ※東京開催を検討

令和4年度年次大会 令和5年2月 ※東京開催を検討

この内容については下記に電話等でご連絡を頂けると有難いです。

担当: 〒039-4222 青森県下北郡東通村砂子又大字沢内 9-35

保育総合研究会 会長 坂崎隆浩 携帯: 090-6252-3699 メール/[kodomoen.sakazaki@angel.ocn.ne.jp](mailto:kodomoen.sakazaki@angel.ocn.ne.jp)

(こども園ひがしどおり FAX: 0175-31-0203)

提供: 保育総合研究会/**保育 Ambassador 坂崎隆浩の保育**/Stand by you「空飛ぶラジオ」

下記のどれからでも聞けます 番組内容などの案内サイトはこちら→ <https://pchann.jimdofree.com/>

☆apple podcast/

<https://podcasts.apple.com/jp/podcast/%E5%9D%82%EF%A8%91%E9%9A%86%E6%B5%A9%E3%81%AE%E4%BF%9D%E8%82%B2stand-by-you/id1562073430>

☆spotify

<https://open.spotify.com/show/7h7gKV6dbjyOUPDTkHiB5U>

☆google podcast

<https://www.google.com/podcasts?feed=aHR0cHM6Ly9hbmNob3IuZm0vcy81NTY5OGMxNC9wb2RjYXN0L3Jzcw==>

**※ちなみに2月は熊本市本田先生のお話です。**

**2024を目指して 年度途中で保総研 25 年**

23 年目/2021 年 **本年は 24 年目/2022 年** 25 年目/2023 年 26 年目/2024 年

普通は 2024 年ここで 25 周年 予定ではペセラは東京 式典(・・?) それよりも海外研修だ

## 参照/保育界【シリーズ/保育の未来像】

### テーマ 社会変容がもたらす保育のあり方 ～今後の保育ビジョンを考える～

【文字数】。執筆者は 1600 字となります。

書き方は、「～である調」でお書きください。※指定された文字数でまとめていただきますようお願いいたします。

【提出方法】

ワードにて指定文字数を記入の上、坂崎会長と古川へ 3 月 20 日（日）までにデータで提出してください。

坂崎会長 [kodomoen.sakazaki@angel.ocn.ne.jp](mailto:kodomoen.sakazaki@angel.ocn.ne.jp) 古川 [kaoru153@estate.ocn.ne.jp](mailto:kaoru153@estate.ocn.ne.jp)

#### 5 月第 1 章 人口動態から考える乳幼児教育・保育の課題とアプローチ

◆人口減少時代の乳幼児教育・保育の環境等

※人口減少化の就学前施設の現状

#### 第 2 章 これからの乳幼児施設の役割

◆どのような教育・保育を提供すべきか～地域の中の保育施設として～

保育の義務化と保育登録制、地域への 4 つのアウトリサーチを提言する

※社会資源としての就学前施設の活用 平山(熊本) 1600 字

#### 6 月◆社会・地域の全ての子どもをはぐくむ施設のあり方

就労によらない施設入所と 5 歳児教育の義務化をすべきである

※就労によらない入所で安心して産める社会づくり

### 第3章 望ましい教育・保育の提供をめざして

#### ◆施設の一元化

総合施設化したこども園へ一元化していくことを望む 松永(熊本)1600字

※理解しやすい就学前施設の在り方

### 7月◆施設の基準と職員の専門要件の一元化及び望ましい姿

個人としてのキャリアアップの位置づけを確立する坂崎りき(青森)1600字

※職員の専門性を高めるしくみ

### 第4章 保育教諭と園児の定数と教員資格化・評価・研修等

◆発達から見る望ましい職員配置基準の考え方 本田小百合(熊本)1600字

### 8月◆教員・教諭資格の在り方と保育教諭の働き方

シェアリング・アライアンス、それぞれの専門の見地からチーム教育・

保育を展開していく 田中(大阪) 1600字

※保育の質をマネジメントする

#### ◆評価制度等の構築

これからの評価の流れを構築する 菊地渉(茨城) 1600字

※職員の課題を理解する

### 9月◆研修の在り方

学び続ける体制と環境づくりを行う 加藤(長野) 1600字

※職員の保育の質向上をサポート

### 第5章 要領と指針の真の一元化

#### ◆一元化に向けて



未来の子どものために考えること（主体性を育む）を忘れない

高月美(大分) 1600字

※成長の根っこを大事に考える

10月◆新子ども保育要領作成

岩橋(大分) 1600字

※どの施設でも同じナショナルミニウムで就学前教育・保育を行う

第6章 様々な地域の施設、保育の方法及び補助事業

◆基本的地域共生社会の実現

地域共生社会と共に進む法人改革

矢野(熊本) 1600字

※新たな社会の仕組みを考える

11月◆地域の捉え方とその保育の在り方

◇待機児童地域

青木(東京) 1600字

※大都会の地域の実情

◇中間地域

菊地晃(岩手) 1600字

※中間地域の実情

12月 ◇過疎地域

椛沢伊(青森) 1600字

※過疎地の実情

◆子育て支援関連の現行制度見直しと改善

制度の根幹問題と共に全ての子どもに対応した仕組みを望む

塩坂(東京) 1600字

※これからの子育て支援の在り方・職員の働き方

1月 第7章 財源と今後の法人の在り方

◆法人運営における財源について

公定価格と内部留保を組み合わせる 伊東(新潟) 1600 字

※人口減少を迎え、財源の在り方

◆これからの法人の在り方

保育で生き残る道筋と社会・地域貢献の必要性 永田(大阪) 1600 字

※地域で必要とされる施設とは

2 月 ◆社会福祉連携推進法人とは

社会福祉連携推進法人の意義を考える 梶沢さやか(青森) 1600 字

※人口減少時代の新たな連携

◆インフラとしての保育所等 3 施設類型の是非

省庁再編と幼保一元化は必須である 田口(神奈川) 1600 字

※子育て家庭のニーズに合った支援を進めていくためには

3 月 ◆現行制度で 2040 を迎えられるか

全ての子どもを対象として現行制度を新たな仕組みに改善する

※全ての子どもを社会で支える 古川(熊本) 1600 字

◆これからの望ましい乳幼児教育・保育を目指すには

梶沢幸苗(青森) 1600 字

今後 月1回の三役会、年間4回程度の役員会にて事業等の内容を決定します。

三役会10名：正副会長6名、部会長2名、事務局2名

役員会34名：正副会長6名、理事9名、監事2名、事務局9名、ジャミーズ3名 顧問・相談役状況に応じて出席依頼

☆「令和3年度日本保育協会保育界」テーマ『「見通しを持った保育」と「保育の振り返り」を考える』継続中  
是非とも読んでください☆公開保育の担当部局の委員を募集しています。手伝って下れば幸いです。

プリプリ執筆次頁の紫色は現在執筆者、その次の令和4年度の表に従って進めていきます。

2委員会	委員長	事務局	副委員長/委員はジャミーズ	担当副会長	役員担当事務局	アドバイザー
広報・PR	高月 美穂	◎榎沢伊知郎 松永和孝	◎吉本大樹◎加藤要樹 ◎本田小百合◎青木恵里 佳◎坂崎力紀	◎田和由里子	◎筒井桂香 菊池 涉 (J)	只野裕子・本田 一幸・藤崎 貴英
保総研 法人検討	伊東 俊樹 <small>基本2年間で検討</small>	◎打田公平 倉内真理	◎打田公平◎菊池晃 ◎今野真洋	◎田中 啓昭	◎菊地義行 土山雅之 東ヶ崎拓樹(J)	田口威 ・遠藤浩正・今野真保・東ヶ崎静仁・ 東口房正

公開保育	担当講師	担当副会長	担当委員	担当事務局
アンバサダープロジェクト担当部局(委員)	榎沢幸苗・坂崎隆浩	矢野理絵・ 田中啓昭	永田裕貴子・斎藤奈緒美	◎田口侑平・◎勇まり子・菊池涉・東ヶ崎拓樹 (J)

プリプリ担当一覧▶加筆・訂正 赤入れ作業				◎全体/桜沢	計画/坂崎				
年齢	認可保育0歳児	認可保育1歳児	保育2歳児	認可園2歳児	認可保育3歳児	認可保育4歳児	認可保育5歳児	食育計画 2枚	安全計画 2枚
添削担当者	福澤紀子	打田修子	桜沢香澄	桜沢幸苗	田和由里子	矢野理絵	只野裕子	坂崎隆浩	遠藤浩平
執筆者一覧	認可保育0歳児	認可保育1歳児	保育2歳児	認可園2歳児	認可保育3歳児	認可保育4歳児	認可保育5歳児	食育計画 2枚	健康安全計画 2枚
2021/令和3年9人	田中 啓昭	永田 久史	隅崎 哲也	坂崎 隆浩	照井ゆかり	永田裕貴子	平山 猛	藤崎 貴英	桜沢伊知郎
令和4年度執筆予定	東ヶ崎静仁	伊東 一男	上原 隆寛	吉本 大樹	古川 豊	菊池 晃	松永 和孝	打田 修子	勇 まり子
令和5年度執筆予定	桜沢さやか	筒井 桂香	青木恵里佳	菊地 義行	矢野 理絵	坂崎 力紀	本田 小百合	田口 威	東口 房正
令和6年度執筆予定	田和由里子	遠藤 浩正	遠藤 浩平	岩橋 道世	土山 雅之	只野裕子	高月 美穂	加藤 要貴	藤井みはと
令和8年度執筆予定	藤崎 貴英	滝田 昌孝	川嶋 真諒	今野 真保	福沢紀子	渡辺信之	東口 房正	田中 啓昭	永田 久史
令和9年度執筆予定	桜沢さやか	加藤 要貴	田口 威	打田 修子	桜沢伊知郎	勇 まり子	藤井みはと	隅崎 哲也	坂崎 隆浩